

TDPF推進計画（令和4年10月時点更新版）

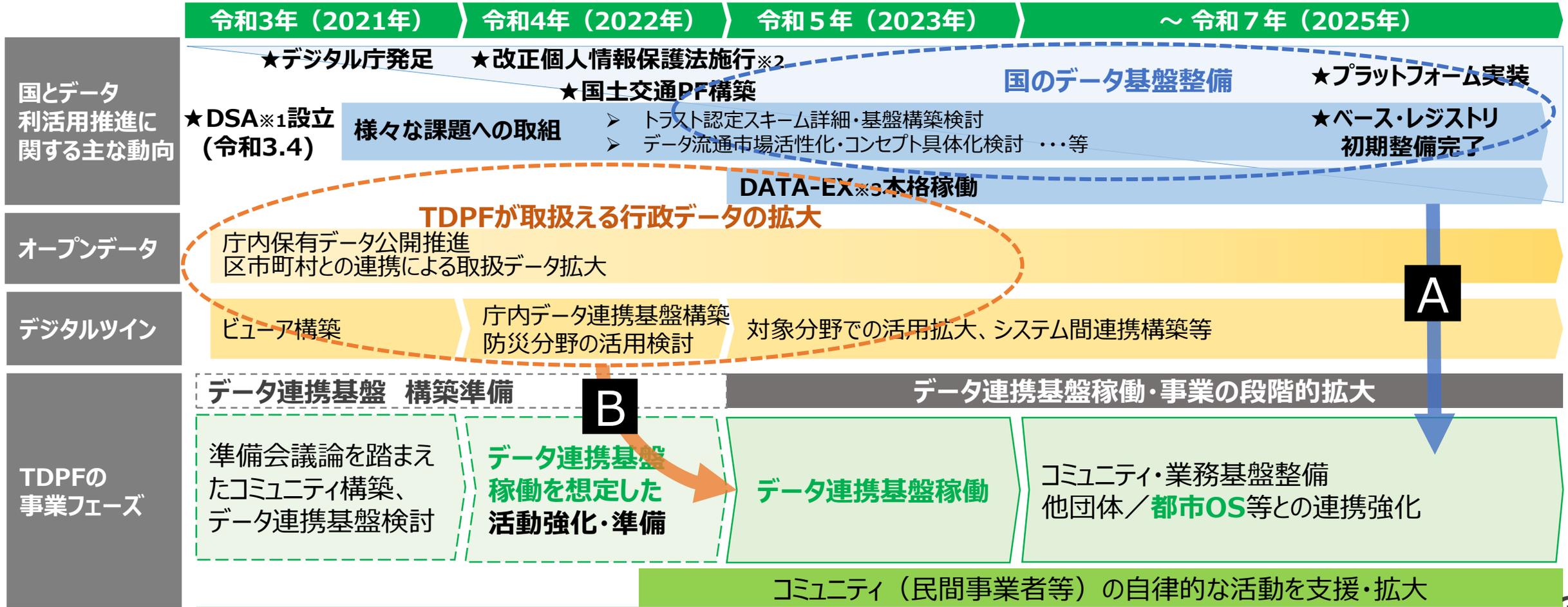
2-1 推進計画概要 ~TDPF事業の目標

TDPFは、データ流通推進事業・データ整備事業の実施や各種取組により、2025年に以下を達成し、社会的課題の解決につながっていることを目指す

- TDPFが、会員主体の**活発なデータ利活用事例創出が行われているコミュニティ**となり、参加者は、国・自治体との連携や産学官交流を通じ、多様な分野で活動し、**社会課題の解決**に貢献できること
- データ整備事業と社会啓発活動により、**社会のデータ整備コストを低減**し、官民がデータ提供しやすい環境を整えていること
- 他自治体・他団体と連携し、**オープン、かつワンストップで多種多様（リアルタイム、条件付等）なデータを取り扱えるデータ連携基盤**を提供できていること
- **データ利活用に関するルール・運営体制を整備**し、TDPF利用者が、**安心して**データ利活用に取り組める環境を提供できていること

- 国の『デジタル社会の実現に向けた重点計画』では、2025年をターゲットに施策を展開。TDPFも **2025年をターゲット**に、計画後半部分で国と連携・検討結果を取込み、コミュニティ・業務基盤を整備
- 関連事業のオープンデータ推進・デジタルツインを通じ、TDPFの行政データの品揃え拡大につなげていく

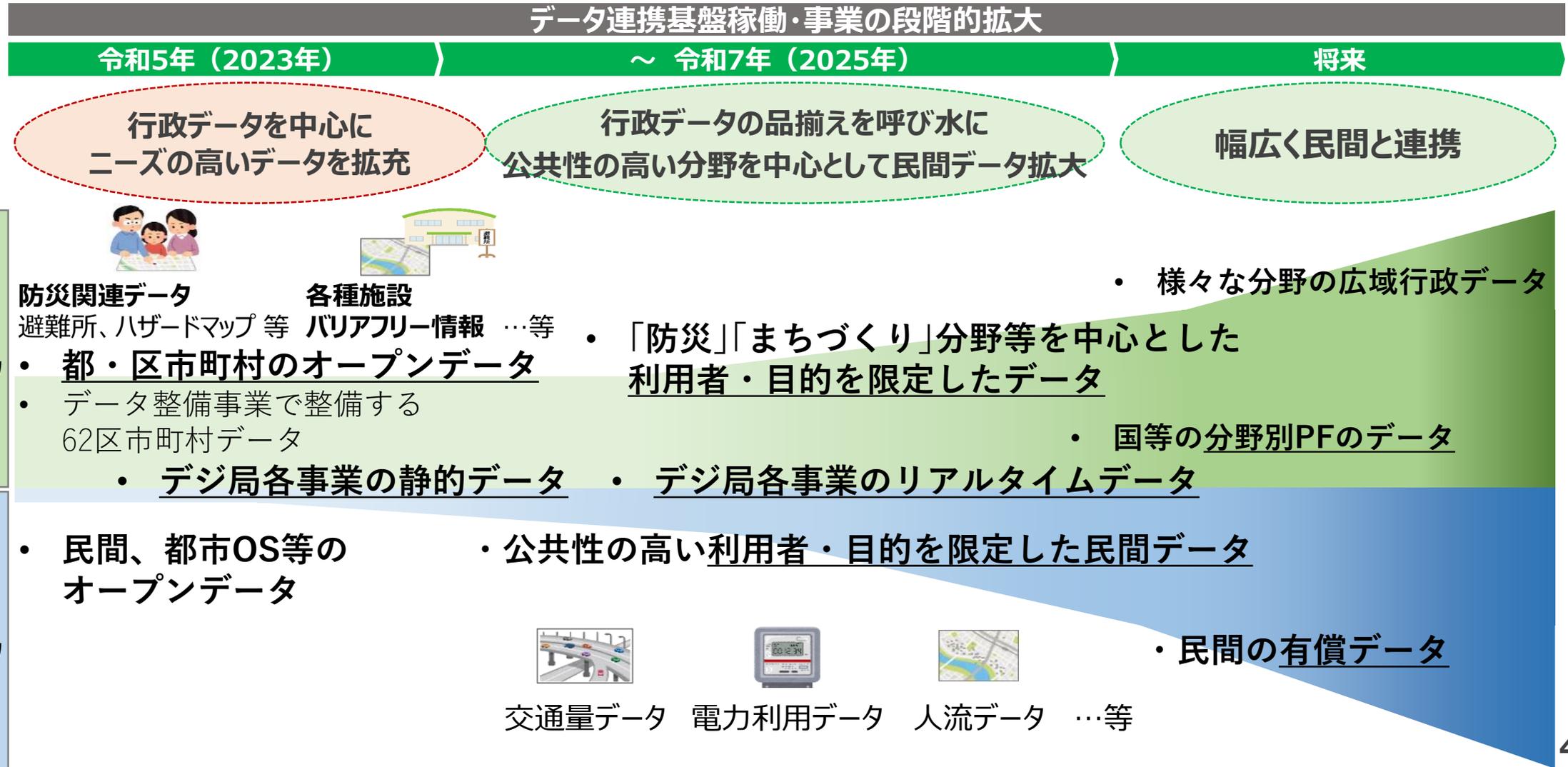
A
B



※1 団体名：一般社団法人データ社会推進協議会（英名：Data Society Alliance） ※2 令和3年改正（地方関係）令和5年4月1日施行 ※3 分野間データ連携プラットフォーム

2-1 取扱データの拡大イメージ

まず行政データを中心にデータの品揃えをし、段階的に民間データを拡充



2-1 推進計画概要 ~「スマート東京」におけるTDPFの役割・各事業位置づけ

- TDPFが目指す姿である、スマート東京の実現にはデータプラットフォームの基盤構築に加え、プラットフォーム利用を促す多角的な取組が必要



TDPFの取扱データ拡大イメージに併せ、各事業の計画を更新・詳細化

	令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）	～令和7年（2025年）	
TDPF構築のステップ	データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大		
	準備会の議論を踏まえたコミュニティ構築、データ連携基盤検討	データ連携基盤稼働を想定した活動強化・準備	データ連携基盤稼働サービス開始	コミュニティ・業務基盤整備 他団体／スマートシティとの連携強化	
コミュニティ（民間事業者等）の自律的な活動を支援・拡大					
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> 協議会を設立し、コミュニティ構築開始 注力分野を定め、WG活動拡充（防災データ・施設系データ集約 新設） データ整備事業検討開始 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会の取組強化WG活動拡大（エリア連携WG立上げ、アドバイザー制度等の活動支援強化） 創出されたモデルユースケースを、仮想データ連携基盤に実装 	<ul style="list-style-type: none"> データ連携基盤サービス提供開始 区市町村データを対象にした整備 ポリシー適用開始 アドバイザリーボード（第三者委員会）設置・運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> 都市OS等の他PFとの接続開始 データ連携基盤の取扱いデータ拡充 協議会有償会員制度設計 	<ul style="list-style-type: none"> 都市OS等の他PFとの接続を梃子に国・産学官との連携事例創出 有償データ取扱開始 基盤充実により会員増を目指す データ整備事業本格開始

行政データの拡充やスマートシティとの連携にかかる取組を中心に計画を更新

 …強化する取組

	令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）	～令和7年（2025年）
事業フェーズ	データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大	
① コミュニティ構築	協議会設立 交流イベント開始	協議会の取組 拡大	会員制度開始 立上げイベント	国や他団体・スマートシティ等との 交流拡大 会員制度拡充 会員主体の イベント拡大
② ユースケース創出	WG分野拡大 ユースケース案具体化 ケーススタディ実施	アドバイザー制度試行 ユースケース 基盤実装試行	アドバイザー制度開始 WG・ケーススタディを通じ ユースケース基盤実装開始・推進	他PF・スマートシティ 連携事例創出
③ データ整備	行政データ整備 モデルの検討	データ整備 事業化検討	都内行政データ 整備・展開	自動整備メニュー化、 啓発活動等取組 データ整備事業 本格開始
④ ポリシー	ポリシー案改訂 アドバイザーボード設置準備		ポリシー適用開始	法改正・他団体連携等を 踏まえたポリシー更新
⑤ 基盤構築	要件定義	仮想データ 連携基盤構築	データ連携 基盤稼働開始	都市OS等の他PFとの連携機能等、 段階的な機能拡充

2-2 推進計画 取組別（案） ①

一部内容更新

- TDPF利用者向けの会員制度を令和5年度より開始、コミュニティ機能も強化
- WG活動の支援機能を、アドバイザー制度導入等を通じて強化し、会員主体の活動を後押し
- 基盤の整う後半は、国や他団体・スマートシティ等との交流を広げ、産学官連携によるデータ活用事例創出につなげる

TDPF 事業フェーズ		令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）～ 令和7年（2025年）		
		データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大		
		コミュニティ構築 / TDPF基盤整備		コミュニティ発展 / TDPF基盤・他PFの連携強化		
① コミュニティ構築 TDPF協議会・ポリシー委託事業	取組方針	・コミュニティ構築開始	・コミュニティ拡大	・コミュニティ具体化 ・活動自律化のサポート	・コミュニティ高度化 ・産学官の交流拡大	・活動のさらなる自律化 ・産学官連携の強化
	取組内容	・協議会設立 ・WG拡大（1→3） ・交流拡大イベント実施	・協議会の取組拡大 ・WG拡大（3→5） ・アドバイザー制度施行	・会員制度開始 ・都との協働事業開始 ・特設サイト等広報開始 ・アドバイザー制度開始	・会員制度拡充 ・会員主体のルール作り ・他団体・スマートシティとの交流拡大	・会員拡大に向けた広報強化 ・会員主体のイベント拡大 ・他団体・スマートシティとの連携強化
	取組内容 (WG)	・フォーカス分野の選定 ・利活用事例創出推進	・活動支援機能試行（アドバイザー制度等）	・活動支援機能提供（アドバイザー制度等）	・活動支援機能の改善 ・会員主体のルールづくり	・会員主体の活動推進 ・他団体・スマートシティとの事例創出
② ユースケース創出 TDPF協議会・ポリシー委託事業 TDPFケーススタディ事業	取組方針	・モデルケース事例開始 ・利活用推進の枠組み作り	・モデルケース事例拡大 ・仮想基盤活用の試行	・利活用事例のTDPF実装開始	・利活用事例のTDPF実装推進	・国・他自治体、産学官の連携事例創出
	取組内容 (ケーススタディ)	・ケーススタディ実施（3テーマ）	・WG活動からテーマ設定、仮想基盤上で事業実施	・エリア連携、データ整備、トラスト等のテーマ設定も候補に追加	・連携基盤の拡充機能と歩調を合わせテーマ設定	・参加者同士の事例紹介を通じ、事例が事例を生むサイクルづくり

- データ整備は、データ流通事業早期立ち上げに向け、行政データの拡充から、戦略的にデータ整備に取組
- 普及啓発活動とあわせて、TDPF参加者のデータ利活用コスト低減を後押し
- ポリシーは、運用・更新体制を整え、法改正や他団体連携等の事業展開を踏まえた更新を機動的に実施

TDPF 事業フェーズ		令和3年（2021年）	令和4年（2022年）	令和5年（2023年）～ 令和7年（2025年）		
		データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大		
		コミュニティ構築 / TDPF基盤整備		コミュニティ発展 / TDPF基盤・他PFの連携強化		
③ データ整備 TDPF データ整備事業 TDPF ケーススタディ事業	取組方針	・データ整備モデル構築着手（行政データ）	・データ整備モデル拡充・ビジネスモデル検討	・データ流通事業開始に向けたデータ整備	・事業の拡充・効率化推進、認知度向上	・データ整備事業開始・パートナーモデルの構築
	取組内容	・自治体・有識者ヒヤリング ・データ整備実践、マニュアル化	・整備対象データの拡充、整備の実施 ・ビジネスモデルの準備	・区市町村データの整備 ・データ整備の啓発活動 ・整備手法の自動化検討 ・トラスト検討WGと連動したデータ品質定義	・独自整備データの作成 ・データ整備の啓発活動 ・自動整備のメニュー化	・独自整備データの作成 ・データ整備の啓発活動 ・パートナーモデル構築
④ ポリシー TDPF協議会・ ポリシー委託事業	取組方針	・ポリシー案の改訂	・運営組織開始に向けた体制整備	・ポリシー適用開始	・他団体・他PF連携を踏まえたポリシー更新	・法改正・事業高度化を踏まえたポリシー更新
	取組内容	・法令・ガイドライン等の動向調査 ・ポリシー案の改訂	・ポリシー案を踏まえたユースケース実践 ・アドバイザーボード設置準備	・ポリシー本格適用作業 ・アドバイザーボード設置 ・都市OS等の他PFとの連携永を踏まえた改訂検討	・他PFとの連携を考慮したポリシーの検討・更新 ・有償データ提供要件の改訂検討	・他団体とのデータ相互活用、データ品質管理手法にかかるポリシー更新 ・来年度拡大領域要件の改訂検討

- データ連携基盤は、TDPF事業の中核を担うシステムとして、令和5年度の稼働開始を皮切りにTDPFの役割やニーズを踏まえつつ追加機能を段階的に実装予定
- 国と連携・検討結果を取込みつつ広域のプラットフォームを横断したデータ流通基盤を整備

TDPF 事業フェーズ		令和3年(2021年)	令和4年(2022年)	令和5年(2023年)～令和7年(2025年)			
		データ連携基盤 構築準備		データ連携基盤稼働・事業の段階的拡大			
		コミュニティ構築 / TDPF基盤整備		コミュニティ発展 / TDPF基盤・他PFの連携強化			
5 基盤構築 データ連携基盤構築事業	取組方針	・要件の整理	・要件の精緻化	・サービス提供開始 (令和5年度下半期)	・機能の拡充 ・DATA-EX、個別PFとの連携開始	・有償でのデータ取引機能提供開始	
	データ連携	事業開始に向けたユースケース創出の取組			(無償) 静的データ	ファイル連携	CSV
					(無償) 動的データ	API連携	NGSIv2
機能実装	要件定義書初版策定	仮想データ連携基盤での実証を通じた要件定義書改版	設計構築	基盤の運用、段階的な機能拡充			
				データ収集・登録をはじめとするデータ流通に必須の機能 ※オープンデータカタログサイトとのデータ連携は早期に着手			
				DATA-EX(分野間データ連携基盤)との接続、都市OS等他PFとの相互運用に必要な機能			
						データ取引機能 10	

★基盤稼働開始

サービス拡充も、コミュニティ・基盤構築の拡充にあわせて段階実施

